



# 9月1日は 防災の日

毎年9月1日は防災の日です。そして、この日を含む1週間を「防災週間」としています。防災週間は、防災の知識を高めたり、普及させたりすることを目的としています。

ではなぜ9月1日が防災の日になったのでしょうか。  
その理由は1923年に大被害をもたらした「関東大震災」に由来しています。

また、雑節の一つで2月の立春から数えて210日目、太陽暦では9月1日前後を「二百十日」と言い、古くから台風襲来時期と稻の開花期にあたり、農家が大被害を受けやすい厄日とされていました。近年ではその時期に特に台風が襲来しやすいというデータはありませんが、風の強い台風シーズンに備えて警戒するという意味があったとされています。

私たちが暮らす日本は、世界でも自然災害が多い国として有名です。（自然災害とは、暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火そのほかの異常な自然現象により生ずる被害をさします）災害時には自らの身の安全を守ることとともに、お互いに助け合うことが非常に重要です。

防災の日や防災週間には、各地でさまざまな行事や訓練が行われています。住んでいる地域の訓練に参加してみましょう。

災害はいつ起こるかわかりません。  
万が一に備えて防災対策をしておくことが大切です。

※9月3日（金）午後1時30分  
第10回大阪880万人訓練を実施します。

